

平成 21 年度第 1 回札幌市入札等監理分科会の審議概要

平成 21 年 11 月 4 日（水）14 時 00 分～16 時 00 分
札幌市役所本庁舎 18 階 第四常任委員会会議室

1 開会

2 委員長あいさつ

3 報告事項

平成 21 年度工事発注状況について（平成 21 年 9 月末現在）

ア 発注状況

(ア) 競争入札と随意契約の発注状況

(イ) 入札方式別の発注状況

イ 落札率の推移

(ア) 平均落札率、契約金額及び入札件数の推移

(イ) 工種（等級）・業種別落札率

ウ 工事のくじ引き入札及び失格者発生状況

エ 業務のくじ引き入札及び失格者発生状況

平成 20 年度札幌市入札・契約等審議委員会意見書に対する市の対応状況について
札幌市工事等入札結果調査要領の制定について

4 抽出工事の決定・審議

以下の工事について、入札経緯等の審議を行った。

北野そよかぜ公園造成工事

厚別東小学校増築及びミニ児童会館整備工事

環状北大橋耐震補強工事

西区西野災害時重要管路耐震化工事その 5 No.8-0805

5 質疑応答

平成 21 年度工事発注状況について（平成 21 年 9 月末現在）

(ア) 指名競争入札について

(委員) 指名競争入札 7 件はどのような案件か。

(事務局) 予定価格は事前公表が 6 件、事後公表が 1 件である。工種は土木 A 2 が 4 件、土木 B が 1 件、建築 A 2 が 2 件である。落札率については、次回報告する。

(委員) 一般競争入札で応札者が無かったため指名競争入札にしたということだが、応札者が無かったのはなぜか。

(事務局) 難易度が高い工事のため、応札者が無かったと考えられる。

(イ) 落札率について

(委員) 落札率が低下しているが、工事の品質は確保できているのか。また、業者は利益を確保できているのか。

(事務局) 最低制限価格を上げたにもかかわらず落札率は低下しているが、落札率の低下による工事成績評定の低下は見られない。

厳しい経済状況の中で、無理にでも受注しようという姿勢はうかがわれる。

業者の利益について調査は行っていないが、最低制限価格をさらに上げてほしい等の要望は聞いている。

(ウ) 最低制限価格について

(委員) 最低制限価格はどのように決定されているか。

(事務局) 直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費に率を乗じ、それらを合算して算定する。

国、他自治体でもほぼ同じ方式をとっている。

(I) 工事費の積算について

(委員) 積算に使用する単価はどのようなものか。

(事務局) 国の積算要領、開発局、北海道の設計単価、市場調査の上で決定する市独自の単価等による。

(委員) 工事が終わった後に、積算根拠となった単価と実際の価格との差を調査することはあるか。

(事務局) 調査は行わない。ただし、労務費については調査を行う。

(委員) 単価の見直しは行っているか。

(事務局) 定期的に行っているが、去年の石油のように、極端に値上がりしたもののについては、その都度見直している。

(オ) くじ引きについて

(委員) 舗装工種のくじ引きが急に増えたのはなぜか。

(事務局) 最低制限価格が算出しやすいのではないかとということ、一般競争入札により競争性が高まったことが原因として考えられる。

(委員) 全ての案件で、ほぼ同額での入札が行われているのではないか。

(事務局) くじ引き対策を導入していない工種ではそのような入札になる場合もある。

(カ) 予定価格の事後公表について

(委員) 事後公表の場合、入札額に差はあるか。その幅はどの程度か。

(事務局) 工種により違うため一概には言えないが、建築工種の大きなものであれば大きな差が出る場合がある。

土木工種の生活道路の案件では、積算が定型的である等の理由により、

予定価格に近い入札が多い。

(委員) 工事の予定価格の事後公表について、札幌市としては今後どうする予定か。

(事務局) くじ引き対策としては極めて効果があると考えているので、試行を継続し、結果の分析を行いたい。

平成 20 年度札幌市入札・契約等審議委員会意見書に対する市の対応状況について

(委員) 変動型最低制限価格の試行について、現在はどのような状況か。

(事務局) 算定方法や他都市の状況を調査し、シミュレーションを行っている。

札幌市工事等入札結果調査要領の制定について

(委員) 調査対象が抽象的ではないか。

(事務局) 要領上、調査対象となる落札率が著しく高いものとして、

予定価格に著しく近いもの

同一工種の同一等級内で、著しく落札率が高いもの

他の工種と比べ、著しく落札率が高いもの

を規定している。具体的な落札率を明示していないのは、個々の案件により事情が異なるためである。

入札参加者に特徴があるものとしては、

同一工種で固定化された入札参加者が継続的に入札しているもの

入札参加者が 3 者未満のもの

を規定している。

これらの調査は、継続的に行う。

(委員) 札幌市工事等入札結果内部調査委員会は定期的開催されるのか。

(事務局) 管財部長が疑義を認め、委員会の開催が必要と判断した場合に開催するので、不定期である。

(委員) 調査を拒否した者に参加停止措置を行うということだが、厳しすぎるのではないか。

(事務局) 応札者にも説明責任があるため、厳しいとは考えていない。

(委員) 同様の調査要領は他の自治体にもあるか。

(事務局) 他の自治体には無い。

(委員) 札幌市競争入札参加停止等措置要領により参加停止となる工事成績評価が 60 点未満の工事は、年に何件程度出るか。

(事務局) 4 件程度である。

(委員) 参加停止期間が経過した後も、業者に影響はあるか。

(事務局) 成績重視型入札では、過去 5 年間の工事成績評価により入札参加資格を判断するため、影響はある。

抽出工事の決定・審議

ア 市長部局

- (委員) 北野そよかぜ公園造成工事の入札には5者しか参加していないが、札幌市工事等入札結果調査要領による調査の対象となるか。
- (事務局) 小規模な工事であり、参加者が少ないことについて疑義はないので、調査対象とは考えていない。
- (委員) 総合評価方式の評価項目に「福祉除雪事業への協力」とあるが、福祉除雪とはどのような制度か。
- (事務局) 単身の高齢者宅の除雪を、割り当てられた企業等がボランティアで行う制度である。
- (委員) 大企業にとっては問題ないかもしれないが、中小企業にとっては負担が大きいのではないか。また、これを評価項目とするのはボランティアの強制になるのではないか。
- (事務局) ボランティアの数が足りず、企業に協力をお願いしているところである。

イ 水道局

- (委員) 工事名が「～その5」となっているが、分割して発注しているということか。
- (事務局) 総延長3kmのものを、8個に分割して発注している。
- (委員) 「提出された工事实績の成績点」と「過去の従事工事における成績点」という似た項目があるが、どのような内容か。
- (事務局) 前者が企業の成績に着目したもので、後者が人に着目した項目である。
- (委員) 1円単位での入札が行われているのはなぜか。
- (事務局) 予定価格事前公表の案件であるため、1円単位での競争が行われているものと予想される。
- (委員) 申請された技術者が確実に配置されているかどうか確認しているか。
- (事務局) 確認している。
- (委員) 総合評価の評価項目について、入札ごとに異なるのはなぜか。
- (事務局) 評価項目については、案件ごとに判断している。入札によっては、業者間に差が出ないような項目もあり、そのような項目については省略する場合がある。